

6年 生物 単位数：6単位

教科書：改訂 生物（東京書籍）

副教材：三訂版 フォトサイエンス生物図録（数研出版）

センサー総合生物 生物基礎 生物 改訂版（啓林館）

三訂版 リードLight ノート 生物（数研出版）

大学入学共通テスト直前演習 生物※（ランズ） ※後日購入（最新版の発売が年度途中であるため）。

学習目標

本校の生物科の目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら生物および生物学的な現象への関心を高める。
- ・FWの基礎となる，思考力，観察力，探究力を養成する。
- ・目的意識をもって観察，実験などを行い，物事を科学的に探求する能力と態度を育てる。
- ・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。

第6学年の目標

【知識・技能】

- ・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
- ・実験観察に必要な技能を身に付ける。探究のプロセスを習得し，課題解決の能力を向上させる。

【思考・判断・表現】

- ・データや図表などの資料から，生命現象について考察する力を身につける。
- ・学習した内容を，体系的に整理・表現する力を身につける。
- ・入試問題を分析し，演習を通じて生物学の理解を深めるとともに，自己の進路実現を達成する。

【学びに向かう態度・人間性】

- ・生物や生物学的な現象について，実験・観察を通して仮説をたて実証する姿勢を持つ。
- ・他者との対話の中で，自らの理解度を認知し，互いに成長する姿勢を持つ。
- ・最先端の生物学と日常生活・地域や世界の課題を関連付け，科学的に捉えて探究する姿勢を持つ。

学習方法

- ・講義を聞き，考えながら必要な事柄をメモする。講義内容を授業時間中に理解するよう努める。（授業）
- ・演習課題ではお互いに学び合う姿勢を持ち，自らの理解度を確認し，表現力を身につける。（授業）
- ・授業の目標が達成できたか，自己評価を行う。（評価）
- ・講義の内容は必ず家庭で復習し，その日中に必ず理解する。また，問題演習は授業内容の理解と定着においてとても重要である。（復習）

評価方法

観点① 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち，論理的な思考や生物学的な知識を用いて意欲的にそれらを探究しようとする態度を身につけている。			
観点② 思考・判断・表現	実験や観察，日常生活などから問題を見だし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを言葉やグラフなどで表現している。			
観点③ 観察・実験の技能	観察・実験を行い，観察する視点を習得するとともに，結果を的確に記録・整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。			
観点④ 知識・理解	自然の事物・現象について，生物学に関連した基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。			
評価の方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察	○			
提出物（レポート、課題）	○	○	◎	
定期考査		◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・基本及び標準問題を理解する。 ・基本的な実験・観察の技能を習得する。 ・基本的な図表やグラフの読み取り方や実験結果の解釈方法を習得する。 ・他者との対話の中で、自らの理解度を認知し、互いに成長する姿勢をもつ。 ・各単元の知識を整理し、まとめを図表として表現する。	1 細胞と分子 2 代謝（オ） 3 遺伝情報の発現 4 生殖と発生 5 動物の反応と行動（オ） 8 生命の起源と進化 教科書、資料集 『リードLight ノート生物』 『センサー総合生物』	化学の内容を復習する。 物質・熱化学（エンタルピー・エントロピー）・酸化還元・反応速度・有機化学（脂肪族・生体高分子）
2 学 期	・単元をまたいで知識を整理し、まとめを図表として表現する。 ・実習に探究的に取り組み、実験結果を表計算ソフト等でグラフにまとめる。発展的な課題・仮説を設定し、適切な実験条件を検討する。 ・問題演習で他者と協働し、自らの理解度を認知し、互いに成長する。 ・実験考察問題の解説を作成できる。 ・最先端の生物学と他分野の内容を関連付けて課題を見出し、探究する。 ・定期考査で7割以上の得点をとる。 ・大学入学共通テストレベルの模試で、7割以上の得点を取る。	9 生物の系統 6 植物の環境応答 7 生物群集と生態系 10 入試問題演習 教科書、資料集 『センサー総合生物』 『直前演習』	
3 学 期	・大学入学共通テストにおいて8割以上の得点をとる。	入試問題演習 『直前演習』	

学習のアドバイス

- ・覚えることが多い！
⇒① 日常生活を関連付けて理解する習慣を身につけましょう。
② 家庭学習は復習を中心に行い、計画的に問題演習に取り組みましょう。
③ 難しい問題を解くために時間もかけるよりも、まずは基礎基本を完璧にマスターしましょう。
- ・どんどん進みます！
⇒① 常に緊張感をもって、集中して授業に臨みましょう。
② 分からないことは必ずその日のうちに解決し、思考を整理しておきましょう。
③ 同科目選択者の中に、教え合える仲間・支え合える仲間をつくりましょう。

◆STEAM 教育との関連

- ①医療や生物工学の先端的な科学技術について学ぶ。＜科学・工学＞
- ②実験データを収集し、再構成・加工してグラフ等を作成する。統計学の手法を用いて分析する。＜数学＞
- ③自然現象や博物館等で学んだ内容を整理し、リーフレットなどをデザインする。＜芸術＞